

④ 日本国特許庁(JP)

⑤ 特許出願公開

⑥ 公開特許公報(A) 昭60-71260

⑦ Int. Cl.⁴

B 41 J 3/04
3/20

識別記号

103
109

庁内整理番号

7810-2C
8004-2C

⑧ 公開 昭和60年(1985)4月23日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全6頁)

⑨ 発明の名称 記録装置

⑩ 特 願 昭58-178201

⑪ 出 願 昭58(1983)9月28日

⑫ 発 明 者 堀 恵 一 東京都江東区常盤2-8-4

⑬ 出 願 人 株式会社エルム 東京都江東区常盤2-8-4

明 記 載

1. 発明の名称

記録装置

2. 特許請求の範囲

(1) 10～200μm程度の孔又は凹部を多数形成した金版、有機物質等よりなるフィルムと、記録用インクの貯蔵部又は(及び)供給部とサーマルヘッドと、前記フィルムの移動機構と、前記サーマルヘッドの駆動機構と、記録用紙の送り機構を最小構成要素とし、前記フィルムがインク貯蔵部又は(及び)インク供給部を通過する時、各々の孔又は凹部にインクを充満し、前記インクを充満された孔又は凹部がサーマルヘッドの表面に達した時、前記サーマルヘッドに電圧印加して加熱させ、発生するバブルの圧力によって前記孔又は凹部中のインクを噴出させて記録を行う記録装置。

(2) 前記サーマルヘッドを記録用紙の巾方向に複数個形成し、前記フィルムの巾を記録用紙巾とほぼ同じ巾とし、前記フィルム中に孔又は凹部を

多数形成して、ラインプリンターとした特許請求の範囲第一項記載の記録装置。

(3) 前記サーマルヘッドを記録用紙の進行方向と両方向に複数個形成し、前記フィルムの孔又は凹部を多数形成し、前記フィルムの移動方向をサーマルヘッドの並びに対して直角又はそれに近い方向にし、シリアルプリンターとした特許請求の範囲第一項記載の記録装置。

(4) 前記サーマルヘッド、フィルム、フィルム移動機構、インク貯蔵部及び供給部等の記録用要素をY(イエロー)色、M(マゼンダ)色、C(シアン)色、の3原色成分またはB(ブラック)色を含めた4色分形成し、カラー記録を行う特許請求の範囲第一項、第二項、第三項記載の記録装置。

(5) 前記フィルムの孔又は凹部の形状は、フィルムの断面において、テーパ状又は半円状に形成されていることを特色とする特許請求の範囲第一項、第二項、第三項、第四項記載の記録装置。

3. 発明の詳らかな説明

記録進行によってサーマルヘッド4の表面のところに置かれ、サーマルヘッド4の減圧印加による急激加熱によって、サーマルヘッド4部にバブルが発生して、その圧力で孔又は凹部2をノズルとしてインク3は記録用紙11上へ噴出されて記録を行う。5はサーマルヘッド4の基板であると共に、ライン方向のドット分のサーマルヘッドを駆動する駆動回路を同時に納めており、これにより凹部形成が単純化される。記録用紙11は、プラテン13でノズルを兼ねるフィルム孔又は凹部に對向し、紙ズレを防ぐためにローラー12、14によって支えられている。10はブレードで、インク貯蔵部7を減圧後にフィルム1に付着した不用品インクをかき落とす。記録は、ライン方向に形成されたサーマルヘッド列の選択されたサーマルヘッドに減圧印加して、ドットパターンに合わせた記録を行う。

第6図は本発明を用いた、カラー記録を行うラインプリンターの説明図である。基本的な構成は第5図のモノクロの構成を各原色用に改める点に

ある。1ア、8アはY色（イエロー）用のフィルムとインク1ア、8アはM色（マゼンダ）用のフィルムとインク1ア、8アはC色（シアン）用のフィルムとインク1ア、8アはB色（ブラック）を原色のひとつとして用いる場合のフィルムとインクである。これらサーマルヘッドを用いた記録部が、記録用紙11の走行と維持の役目を果たすプラテン13に對向して設けられている。記録用紙11の走行にタイミングを合わせて、B色、Y色、M色、C色、の記録部でドットパターンによって記録すると、網点方式又は重ね合わせ方式で、マルチカラー又はフルカラー表示ができる。

第7図は、本発明を用いたカラー・シリアルプリンターの説明図である。1ア、1ア、1ア、1アは、Y色、M色、C色、B色用のフィルムであり、それらは多数の孔又は凹部が形成されている。4ア、4ア、4ア、4アは、それぞれ原色用のサーマルヘッド列で、サーマルヘッド列はフィルムの長手方向に直列又はそれに近い

方向に直列のサーマルヘッドが形成されている。16ア、16ア、16ア、16アは、インク貯蔵部7ア〜7アからフィルム1ア〜1アにインクを供給するためのインク供給用スポンジローラーである。このスポンジローラーは、インク貯蔵部よりインクを吸い上げて、このローラー表面を電着して透過するフィルムの孔又は凹部に、インクを充満させる。これらY色、M色、C色、B色用の凹部は、ひとまとめにしてヘッド部とし、記録用紙11の巾方向に記録タイミングを考慮して移動させることにより、シリアルプリントを行うことが出来る。

第8図は、フィルムに形成する孔又は凹部の断面図である。a、aはテーパ状、bは平行状、cは凹部状を示す。フィルム中の孔又は凹部の密度は、記録する密度及びサーマルヘッドの密度に応じて適宜に決定する。

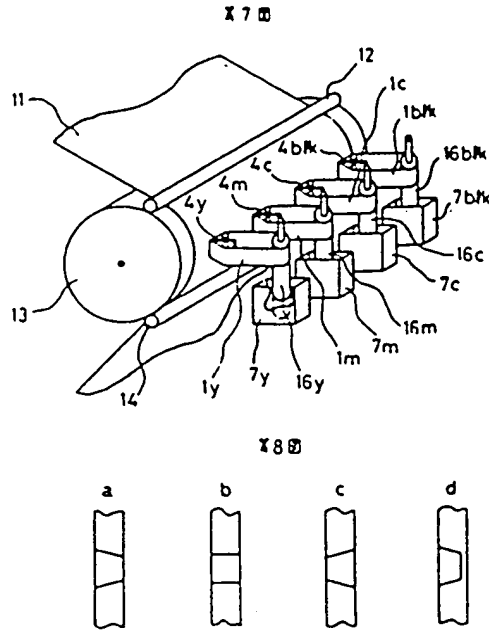
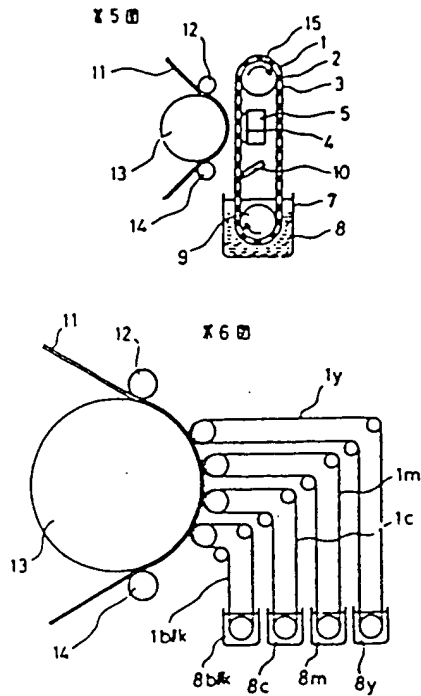
以上のように、本発明はモノクロ、カラーのラインプリンター、シリアルプリンターを構成できる。しかも、エンドレス・フィルム中に多数の孔

又は凹部を形成して、それらをインクジェットノズルとして用いる為、従来のインクジェット方式の普及を阻んでいた、ノズルの目詰まりについて完全に解消できた。又、フィルム中に孔を多数形成するため、記録密度は、従来のインクジェット方式に比べて、はるかに高めることができた。さらにバブルの圧力を利用するために、インクの噴出力はピエゾ等の圧電素子よりも大きく、記録スピードは高められた。

以上のように、本発明は新しいタイプのインクジェット記録装置を提供し、その文化的、工業的意義は非常に高い。

4. 図面の簡単な説明

第1図a、bは、本発明に用いるフィルムの断面図と正面図であり、第2図a、b、cは、本発明の原色の説明図である。第3図a、b、第4図a、bは、本発明に用いるフィルム中の孔又は凹部とサーマルヘッドとの関係を示す説明図。第5図は、本発明のモノクロのラインプリンターの説明図、第6図は、本発明のカラー・ラインプリン



予試補正書（自保）

昭和59年7月10日

特許庁長官 閣下

1. 事件の表示

昭和58年特許第178201号

2. 発明の名称

記録装置

3. 補正をする者

事件との関係 明許田 個人

〒133

東京都江東区豊洲2-8-4

株式会社

代表取締役

明許田

敬

啓

印

4. 補正の個所

5. 補正の内容

明許田の「特許請求の範囲」の項に、「説明の詳細な説明」の項を

方式
審査

6. 補正の内容

(1) 特許請求の範囲を別紙の通り訂正します。
(2) 明細書が4頁を4行目にしける「---図式使用---」を「---図式移動して使用---」に訂正します。

(3) 明細書が10頁を12行目とを13行目との間に次の事項を挿入します。

「図、本発明例においては、フィルムをエンドレスにして構成したが、往復移動式に構成しても同じ効果が得られる。又、フィルム、インク記録部をカセット式で構成自在に構成した場合も同様の効果が得られる。」

(4) 明細書が4頁を13行目にしける「---この孔の径は---」を「---この孔の外径寸法は---」に訂正します。

(5) 明細書が6頁を12行目にしける「---図の径は---」を「---図の外径寸法は---」に訂正します。

(6) 明細書が6頁を14行目にしける「---孔の最大径は---」を「---孔の最大寸法は---」に訂正します。